

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野譲次

Rotary

一宮RC



2024年9月19日
第3607回例会

プログラム

ロータリーの友月間卓話
池森由幸君(名古屋千種RC)
(地区ロータリーの友委員)
テーマ「最近のロータリーの友について、
利用方法と活用方法について」

ロータリーソング「それでこそロータリー」
第3606回例会の記録
2024年9月12日(木)

会長挨拶

佐々木久直
本日は当クラブの名誉会員の一宮市の中野正康市長に卓話をいただきます。公務でお忙しいところ、本当にありがとうございます。本日の卓話、宜しくお願ひします。

また、稲沢ロータリークラブから8名、愛知友愛ロータリークラブからと計9名もメークアップにいらっしゃいました。

ようこそ一宮ロータリークラブへ。

このところ話題には事欠かない、新聞をじっくりと読むのが面白い日々が続いています。昨日の米国のハリスvsトランプの初の直接対決、そして日本製鉄によるUSスティールの買収の行方も気になります。

日本も自民党と立憲民主党の代表戦が繰り広げられています。はたしてこの先どうなるのか?この地域も松坂屋名古屋店の63億円の大規模リニューアル改装など、豊富な話題が続く週となっています。

次の例会では、「四つのテスト」についてお話ししたいと思います。

ロータリーの友 9月号

永井一人
・横組み7頁から“ネパール&ベトナム学校へつなぐ道”という記事があります。ベトナムの小学校へ通学手段確保のために通学用自転車を70台寄贈されたという内容です。これは第2760地区の豊橋ゴールデンRC国際奉仕委員長 鈴木紳昭さんからの寄稿です。

次回の予定

卓話

尾関良彦氏

一宮市教育委員会事務局教育部 学校課長
テーマ「教員の仕事とこれからの学校」

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



会長 佐々木久直
副会長 森 克彦
幹事 鵜飼 雅弘

会長エレクト 山上 哲司
副幹事 大鹿 晃一
会報委員長 浅野 一

・縦組み7頁中段あたりから、「障害のある子にも音楽を」との見出しで、耳が聞こえない、目が見えないといった、身体的障害のある子どもたちが障害のない子どもたちと一緒に音楽を楽しめる「ホワイトハンドコラス」について記されています。この名前の由来は「耳が聞こえない子どもたちが手話で音楽パフォーマンスをする際に、白い手袋をはめるから」とのことです。恥ずかしながら私自身全く認識がなかった内容で、大変興味深い記事でした。よろしければぜひご一読ください。

委員会報告

ニコボックス

佐藤博之

☆ 川合正剛君(稲沢RC会長)

本日は一宮RCに8名でお伺いさせていただきました。宜しくお願ひ致します。

☆ 横井 定君(稲沢RC)

親クラブ様には75周年おめでとうございます。本日はお世話になります。

☆ 小田純也君(愛知友愛RC)

佐々木会長になられて、初めてのメークアップです。皆様、本日もよろしくお願ひ致します。

☆ 足立 誠君

本日は、日頃大変お世話になっております。一宮市長中野正康様をお迎えできる喜びと、稲沢RC川合正剛会長以下多くのメンバーをお迎えできた喜びで。

☆ 山田一仁君

本日は公務多忙の中、中野正康一宮市長をお招きでき卓話を頂ける事、川合会長をはじめ稲沢RC様から沢山の方々に訪問頂けた喜びで。

☆ 渡邊 肇君

今日、長女が結婚します。これで子育てがひと段落しました。こどもの成長で自分が歳をとった事を改めて実感します。

☆ 佐々木久直君 鵜飼雅弘君

本日は中野正康一宮市長より卓話をいたぐり喜びで。ビジターとして稲沢RCより川合正剛会長、山本敏裕幹事、新井様、永井様、金森様、横井様、水野様、石黒様、愛知友愛RCより小田純也幹事をお迎えする喜びで。ようこそお越し下さいました。

出席報告

本日のビジター

9名

現在の会員数

114名

本日の出席数

69名

前々回の出席率

100%



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

***** プログラム *****

卓話

中野正康氏(一宮市長 名誉会員)
テーマ「一宮市政あれこれ」

～令和6年度予算プロジェクトを中心に～



本日は皆様に一宮市の予算プロジェクトについてお話しさせて頂きます。町会長の皆様にお話ししているものを中心にご紹介させて頂きます。一宮市の財政力指数は愛知県内 32/38 全国中核市で 27/62 でこの指標は過去10年間変わっておりません。

令和6年度の一宮市予算から

1 未来に向けて！ ～子育て・教育～

児童手当の拡充

●令和6年10月分から児童手当を拡充 (63億7,583万円)

- 第3子以降の増額、所得制限の撤廃
- 児童年齢を18歳年度末までに引き上げ
- 支給月を4か月ごとから2か月ごと (偶数月)

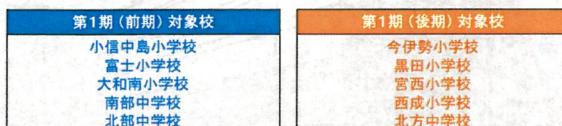
支給額

現状 (1人あたり月額)		令和6年10月分以降 (1人あたり月額)	
0~2歳	1.5万円	申請不要	1.5万円
3歳～小学生	1万円	第3子以降	1万円
中学生	1万円	3万円	
高校生等	なし	1万円	なし
所得制限	あり		

新たな時代にふさわしい学校づくり

●シン学校プロジェクト (8,127万円)

市民のアイデア → 小中学校の在り方を検討 → 施設の複合化



●東浅井給食センターが R6.9月にオープン (31億7,138万円)

給食センターが2場→3場に

- 小中学校17校分の給食を提供
- アレルギー除去食の提供が可能



2 みんな元気に！

～高齢者・障害者など～

情報バリアフリーな市役所へ

字幕表示システムを導入

高齢者の補聴器購入を支援

帯状疱疹ワクチン接種を支援

3 地域を元気に！

デジタル庁の先行事業 (マイナカード×自治体医療支援)

- 全国に先駆けて医療費受給者証の提示が不要となる実証実験に市民病院が参加 (全国で16自治体、東海地方では唯一)



駅ナカ施設で旅券窓口等を開設

- 土・日曜日、祝休日も窓口オープン (2,136万円)

健康・子育てから、DXをスタート

●健康支援アプリの導入 (5,324万円)

健診結果を自動記録で「見える化」して、データも一生保存



●子育て支援アプリの更新 (670万円)

母子健康手帳のほか、予防接種お知らせ機能などで子育てをサポート



●公共施設予約システムの導入 (2,234万円)

予約から開館番号の通知まで、スマートフォンだけで完結
(一部スポーツ施設から開始)



尾州フェス 繊維・芸術・食 10/12-13

映画『BISHU ~世界でいちばん優しい服~』10月11日(金)全国順次公開決定!

中部圏1位、全国6位

